

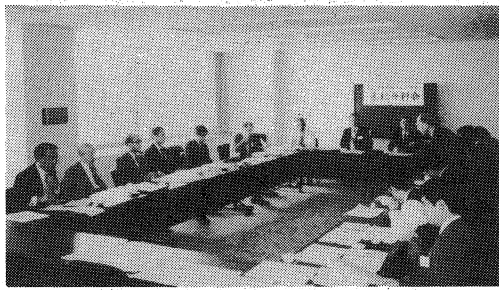


医科分科会報告

富山県保険医協会理事

横井昭平

標題の会議は前日の桐島正義保団連会長による記念講演『開業医の将来と保険医協会』に引続いて場所を県民会館に移して十月二十八日午前九時半から和氣調々のうちにも非常熱心にお互いの胸中を晒けだして討議・協議がなされ、真剣に、ときには深刻になる場面も見受けられるくらいで密度の濃い、のり多い会議であった。即ち、国民や私共医療担当者の反対を押し切って改悪された健保法が施行された今日、供手傍観することなく、医療の実態の正しい把握と今対応せねばならない問題点の明確な提起を行なうことにより、少しでもゆがみを正し、新しい医療のあり方



歯科分科会報告

富山県保険医協会理事

小熊清史

北信越ブロック会議歯科部会は、歯科協から幹事の寺島一郎先生を迎えて、石川、富山、新潟、長野の各県の参加で行なわれた。(但し長野は事務局のみ) 午前中は、まず、寺島先生から、協会の歴史、保険医療の動向、審査問題プロジェクトチームの報告があった。それを受けて、とくに審査・指導問題について活発な討論が行なわれた。

審査は、書類(レセプト)審査に限られ、事情を(電話などで)聴取することはあっても、知事の承認を得ない限り他の資料の提出や出頭を強

先ず皮切りに当協会の高野副会長が診療報酬問題について厚生省の立場、医療担当者側の受けとめ方、それへの今後の対応等について詳述し、田中会長は近頃一般の紙面にまで広く論せられている医療改革・家庭医制度等について問題提起をし、若干の私見を述べた。それに対し、多くの貴重な意見が提出されたが、新潟医会の参加者からホームドクターの配置場所に関連したものは審査・指導対策について柳下理事がその中広い知識で卓見を述べつつ問題提起を、最後に私が経営税務対策について実例をあげて愚見をのべて会を閉じたが、拙劣な私の司会にも拘らず、その内容の豊富なことと水準の高いことには隔世の感があり、誠に有意義で心底から欣喜雀躍し満足感にひたつたのであった。

石川協会は、健康教育活動推進の一環として地域住民を対象に健康なんでも相談を各地で開催しています。これは、あらかじめ主催団体より希望されたテーマについて三〇分程度話題提供し、その後、複数の医師が参加者と膝を交えて健康や病気の相談を行うといった形式です。



石川

石川協会は、健康教育活動推進の一環として地域住民を対象に健康なんでも相談を各地で開催しています。

富山では保団連方針「第一線医療の創造と実践」を受け

富山協会は保団連方針「第一線医療の創造と実践」を受け

富山協会は保団連方針「第一線医療の創造と実践」を受け

四年前から始めた「健康なんでも相談」は老人会、PTA、農協婦人部、町内会等、これまで三回(のべ参加住民八一九名、医師一二二名)開催し、いずれも好評であり、定期的な開催を希望する団体も多く、また隣町の町内会に評判が広がり申込みといったことで年内予約一杯で講師派遣にも困る盛況ぶりです。

富山では保団連方針「第一線医療の創造と実践」を受け

富山協会は保団連方針「第一線医療の創造と実践」を受け

富山協会は保団連方針「第一線医療の創造と実践」を受け

研究会活動を旺盛に行ない、十月二十一日には「開業医のための糖尿病セミナー」を58名の参加で開催した。講師は県内公立病院の専門医にお願いし、「わかりやすかった」「病院へ送りやすくなった」と好評を得た。

富山では保団連方針「第一線医療の創造と実践」を受け

富山協会は保団連方針「第一線医療の創造と実践」を受け

富山協会は保団連方針「第一線医療の創造と実践」を受け

新健保法の実施による被害から患者、国民、医療機関を守ることを重視して取り組んでいる長野協会は、県の福祉医療事業に係る健保本人の一部負担金助成について、県に要望、改善させた。しかしながら、県下市町村に対する指導が遅れたため、条例改正していない自治体もあり実態調査を行ない、該当市町村へ要望していくこととしている。

富山では保団連方針「第一線医療の創造と実践」を受け

富山協会は保団連方針「第一線医療の創造と実践」を受け

富山協会は保団連方針「第一線医療の創造と実践」を受け

富山では保団連方針「第一線医療の創造と実践」を受け

富山協会は保団連方針「第一線医療の創造と実践」を受け

富山協会は保団連方針「第一線医療の創造と実践」を受け

富山協会は保団連方針「第一線医療の創造と実践」を受け

